

# 園だより

2025年3月 取手幼稚園

幼稚園にとって「とうとう」3月がやってきました。そう、お別れの月です。毎日あたりまえのように一緒に過ごしてきたお友達とお別れをしてそれぞれに新しい旅立ちの時です。私は一人の大人として、子どもたちの未来を心配しています。環境のこと、戦争のこと、命のこと。小学校へ進学する子どもたちへ残念ながら「楽しいことばかりだよ」とは言ってあげられないのです。子ども達は今まで以上に困難な時代を生きていくのかもしれませんが。そして生きていけば楽しいことばかりではなく、悲しいことや辛いこと、また理不尽だと思うことなどをも経験していくのでしょうか。その時をしっかりと生き抜いてくれれば後でその意味が見出せるはずです。そのために大切なのが幼稚園での出会いと経験だったと私は思っています。そして今、みんなで「いいお別れ」ができるように最後の時を過ごします。「出会えてよかったね」「きみのこと、いつも大切に思っているよ」「また会おうね」と、お別れしましょうね。

《園長 小林路津子》

## 園主題 いっしょに生きていく

年間の主題『さあ、漕ぎだそう 奏でよう』

3月のねらい おおきくなったね 希望を持って

〈保育の願い〉

ばらぐみ	① 就学に期待感を持ちながら、残りの園生活を楽しむ ② 花の芽や気候の変化などを通して春の訪れに少しずつ気づき、自然に興味関心を持つ。
すみれぐみ	① 冬から春に変わる季節の移り変わりに関心を持つ。 ② 進級への期待を持ち、友だちや保育者とのかかわりを十分に楽しむ
たんぽぽぐみ	① 進級に向けて期待を持って生活する ② 優しさや思いやりの気持ちを持って他児に接する
ももぐみ	① 安心して毎日を過ごす中で、友だちや保育者とのやり取りを楽しむ ② 神さまやたくさんの人たちに愛されて大きくなったことを喜ぶ
すずらんぐみ	① 安心して毎日を過ごす中で、友達や保育者とのやり取りを楽しむ
つぼみぐみ	① 生活リズムが安定し、心も体も満たされて過ごす ② 春の訪れを感じ、豊かな恵みを味わっていく

## 〈3月の予定〉

4日（火） 幼児組園外保育	14日（金） 修了式（幼児組）
5日（水） 英語の日（幼児組） ありんこくらぶ	15日（土） 修了証書授与式（卒園式） 年長組1号認定児保育修了
6日（木） 防災を考える（幼児組）	17日（月） 幼児組1号認定児
7日（金） 誕生会	春休み・預かり保育
12日（水） 体操の日（幼児組） ありんこくらぶ	20日（水） 春分の日（休園日）
13日（木） お別れ会	31日（金） 年長組1号認定児預かり保育、 および年長組2号認定児保育修了

\*小文間公民館まつりに幼児組のお友達の作品が展示されます。

3月2日（日）10:00~16:00 是非ご覧ください。

\*4日（火）幼児組園外保育 お天気により予定が変更されることがあります。  
保育中に行います。いつも通り登園してください。

\*6日（木）防災を考える日幼児組 詳細は別紙にてお知らせしています。

### \*2024年度始業の予定

4月1日（火）2・3号認定児新年度保育スタート

7日（月）1号認定児新年度保育スタート（始業式）

9日（水）入園式（新入園児）在園児いつも通りの登園です。

3日 ☆☆☆☆☆くん （ばらぐみ）  
10日 ☆☆☆☆☆ちゃん （たんぽぽぐみ）  
18日 ☆☆☆☆☆ちゃん （たんぽぽぐみ）  
20日 ☆☆☆☆☆くん （たんぽぽぐみ）

## おたんじょうびおめでとう

### 〈今月の聖句〉

愛する人たち、互いに愛し合いましょう。

ヨハネの手紙Ⅰ 4章7節

## クラスみにみに通信

### 《ば ら ぐ み》

今年度も残りわずかとなりました。この一年を振り返り、一人ひとり自分のペースで大きく、たくましく成長した姿に、嬉しさを感じているこの頃です。先日は音楽会にお越し下さりありがとうございました。ステージの上で緊張しながらも、一人ひとりが自分らしく表現をする姿は、この一年間の成長を物語っているようで、私自身とても感動し、胸がいっぱいになりました。合奏の最後は、ばら組らしく元気いっぱいな「やー！」で終わられて良かったです。またひとつ自信をつけた子どもたち。心をひとつに楽しめた音楽会となったことでしょう。音楽会の次の日はポカポカと日差しが暖かかったので、3クラス合同でお散歩に出かけました。芝滑りでは、みんなで滑ってみよう！となりばら組全員で挑戦！もちろんズルズルでみんな芝だらけになりました。子どもたちの無邪気に楽しむ姿が眩しかったです。残りの日々も思いっきり楽しみたいと思います。

### 《す み れ ぐ み》

肌を刺すような冷たい風に頬や鼻を赤らめながらも、元気に遊んでいる子どもたちです。1月の終わり頃から少しずつ練習が始まった音楽会。劇の配役はみんなで話し合って決めました。やりたい役が明確だった子、お友だちに役を譲ってくれた子など、様々な姿がありました。もともと絵本が大好きだった子どもたち。すぐに「おおきなかぶ」の世界に入り込み、楽しみながら練習を重ねました。実際に絵本を見ながら、登場人物のポーズや表情を真似して見せ合っては大笑いしている微笑ましい光景も見られましたよ。練習を重ねるうちに段々と自信をつけ、本番でも全員がそれぞれの役を頼もしく演じてくれました。すみれ組らしさがよく表れていたのではないかな、と思います。お忙しい中お越しいただき、ありがとうございました。すみれ組での生活もあと1ヶ月となりました。子どもたちとのひとつひとつの関わりを大切に、残りの時間も楽しく過ごしていきたいと思います。

### 《た ん ぽ ぽ ぐ み》

先日は音楽会にお越しいただきありがとうございました。初めての合奏では、たたくことに集中しお歌が小さくなったり歌声を大きくするとたたくのを忘れてしまったりと、苦戦することもありましたが、毎日の練習で楽しみながら合奏することができ、本番では保護者の方に見てもらいいつもよりテンションが上がりみんな笑顔で合奏する姿が見られました。ダンスでは、大好きなミッキーとミニーの衣装を毎日着て練習しました！初めて体形移動を取り入れてみましたが、すぐに移動する場所を覚え楽しく踊っていました。運動会でもダンスを踊りましたが、その時よりもみんなが自信満々に踊っていてすごく成長を感じました。色々な行事を終える度に成長を実感することができ、そんなみんなと一緒に過ごせることがとても幸せでした！残り1ヶ月、毎日を大切に楽しんで過ごしていきたいと思います。

## 《も も ぐ み》

早いものでもも組で過ごす最後の1ヵ月となりました。私の「お外行こう」の合図でそれまで使っていた玩具などのお片付けを素早く行い、言わずともトイレに行ったり、靴下を履いたりなどの準備を始めています。その中で、「ねえねえ〇〇ちゃん、一緒に遊ぼう！」「お外で〇〇しよう！」と会話をしている姿が多く見られるようになり、個々ではなく集団で遊ぶことが増えてきました。誰かが困っていたら助け、声を掛け合うとっても仲良しな6人です。

幼児組になる準備として朝と給食、おやつ前の「お祈り」を始めました。胸の前で手をぎゅっと握り目を閉じて静かに保育者のお祈りを聞く子どもや、後について言っている子ども、早々にお祈りの言葉を覚え、一緒に言っている子どもがいますよ。これから徐々に体操や英語にも参加し、たんぼぼ組になる期待を高めていけたら、と思います。

そして、乳児組で過ごす一瞬一瞬を大切にしていこうと思います。一年間大変お世話になり、ありがとうございました。残り1ヵ月もどうぞよろしく願いいたします。

## 《す す ら ん ぐ み》

いよいよ今年度も終わりに近づいて来ました。心身ともに大きく成長した6人の子ども達。お話も上手になり、保育者やお友達とも会話を楽しむようになりました。また、着脱などもだいぶスムーズに出来るようになり、一人で出来る様になった子もちょっとずつ出てくるなど、そんな日々の成長が、目まぐるしく感じる今日この頃です。遊びも一人遊びから、お友達と遊ぶ事が多くなり、よく遊ぶようになった反面、自我の芽生えでケンカも多くなり、互いの意見がぶつかり合うことも、しばしば。しかし、優しさや思いやりの心も共に成長し、お友達が泣いていたり困っていると、『どうしたの?』や『手伝うよ』と年齢問わずに寄り添って、慰めたり、手助けをしたりするようにもなりました。すずらん組になり、計り知れないほどの成長をした子ども達と、この一年間関わることができた事を、心からありがたいと思い、感謝の気持ちでいっぱいです。今後も6人の子ども達の健やかなる成長を心よりお祈り申し上げます。一年間ありがとうございました。

## 《つ ぼ み ぐ み》

とうとう今年度最後の月になりました。改めて、子ども達は自分の周囲から色々なことを学び、そしてお友達と互いを育て合ってきたんだなあという事を強く感じています。例えば、絵本を保育者の所に持ってきて、読んで一、と言っているお友達を見るとすぐに自分も好きな本を探して持ってきます。その後で、一冊の本を2人頭を突き合わせて読んでいることも。ブロックで何かを作っているお友達をじっ…と見ていて隣で自分も作り始めます。庭の大きな遊具にも、お友達の姿を見てトライします。給食で、自分が座りたい場所をお友達と取り合って泣いたりします。そして、一人が部屋をぐるぐる走り始めると嬉しそうに次々後につき、キャッキョッと笑っています。その、本当に楽しそうなこと！子ども達の世界が、互いにリンクしながら大きく広がっていく様子に胸が熱くなり、一人ひとりの成長に心からエールを送りたいと思います。保護者の皆様、いつも温かく見守ってくださり、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。